

## 第 7 次 瑞浪市 総合計画 策定に係る 各種 ワークショップ の開催 について

## 1. 実施目的

第 7 次 瑞浪市 総合計画 の策定にあたって、基本構想に活用できる市民意見を抽出するとともに、10 年後に目指すべき「都市像」や、それを実現するために必要な取組について検討する機会を確保する。さらにこの機会をきっかけとして、今後のまちづくり人材の育成や、協働に向けた関係構築をも視野に入れて実施するものとする。加えて、キャンペーンロゴによる展開を行い統一的なイメージを印象づけるなど、広く市民に計画策定のプロセスが周知できるよう取組を進める。

## 2. 実施内容

## ① みずなみ “未来” カフェ (自治会・まちづくり推進組織)

市内 8 地区、各地区 2 回程度の実施。ワールドカフェ形式<sup>\*</sup>による意見交換及び取組アイデアの創出。次に示す「フューチャーセッション in みずなみ (学生ワークショップ)」の結果も提示し、それを踏まえつつ若い世代が感じているまちづくりについて共有しながら実施する。

(※「知識や知恵は、管理されがちな会議室ではなく、人々がオープンに会話をを行い、自由につながりを築ける“カフェのような空間”でこそ創発される」という考えに基づいた、話し合いの方法の一種)

## ② フューチャーセッション in みずなみ (学生ワークショップ)

10 代・20 代の若者に参加を募り、10 年後の自分の姿、地域の姿、まちの姿を思い描いてもらうとともに、市民協働の取組についてもアイデアを出し合う。また、最終的には若者の提案発表会を開催し、市全体のまちづくりの気運づくり、総合計画の PR、プロモーション機会とする。

## 3. 日程・所要時間等

感染症対策を徹底しつつ、1 回あたりの所要時間は約 90 分を目処とする。

- ①：令和 4 年 8 月下旬から 10 月上旬にかけて市内 8 地区、各地区 2 回程度の開催。
- ②：令和 4 年 6 月から 7 月にかけて実施。若者の集まりやすい曜日・時間帯で実施する。

## 4. 場所

- ①：市内 8 地区の公民館又は地区内施設
- ②：Mビル内レンタルスペース

## 5. 参加者

- ①：市内在住の 18 歳以上の市民 (各地区 20 名程度)
- ②：市内に居住または通学する高校生・大学生 (約 30 人程度)

## 6. 募集方法

- ①：広報での周知や、各種団体への声掛けにより募集
- ②：学校、ホームページ、SNS等を活用して募集

## 7-①. 「みずなみ“未来”カフェ」における検討内容

	テーマ	内容
各地区	地域の強み・弱み 将来像の検討	第6次計画に位置付けた市民ワークショップの結果（「地区について」「重点課題(地区の良い点、悪い点)」等/P124-142) について振り返りながら、改めて瑞浪市の強み（自慢、誇り）・弱み（課題、伸びしろ）について自由に語り合っただけ。それを踏まえて将来像やそれに向けた取組を検討する。

## 7-②. 「フューチャーセッション in みずなみ」における検討内容

	テーマ	内容
第1回	瑞浪市の10年後を思い描いてみよう！	瑞浪市の強み（自慢、誇り）・弱み（課題、伸びしろ）について検討し、その強みが活かされ弱みが克服された市の10年後を自由に検討する。
第2回	「必要な取組」のアイデアを出し合おう！	第1回で描かれた市の将来像を実現するために必要な取組について、自由なアイデア出しをする。
第3回	市民協働のプロジェクトに磨き上げよう！	第2回で検討した取組アイデアをブラッシュアップしつつ、市民と行政の望ましい役割分担を検討し、具体的なプロジェクトを構築する。
発表会	会議の提案発表会をしよう！	第3回の検討を踏まえ、それぞれのチームの提案の発表会を実施する。

## 8. その他

最終的な計画冊子（ビジョンブック）に、ワークショップの様子や意見、顔写真などを掲載することを想定し、参加者等に掲載の了承等を得た上で、写真撮影を行う。